

自立活動学習指導案

授業日 令和7年2月26日(水)

3校時

学習者 カモカモ学級5年生 8名

授業者 内山 奈帆子

1 単元名 「自分発見！なりたい自分を見つけよう」

2 単元の目標

◎交流を通して自分の特性や友達によさに気づき、お互いを認め合うことができる。

(1.健康の保持、2.心理的な安定、3. 人間関係の形成、

4. 環境の把握、6. コミュニケーション)







◎自分の特性やよさを理解し、なりたい自分を考えることができる。(2.心理的な安定、4. 環境の把握)

3 単元の目標を達成するために必要な自立活動の項目

	1. 健康の保持	2. 心理的な安定	3. 人間関係の形成	4. 環境の把握	5. 身体の動き	6. コミュニケーション
選定された項目	・障害の特性の理解と生活環境調整	・情緒の安定に関すること ・状況の理解と変化への対応に関すること ・障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	・他者とのかかわりの基礎に関すること ・集団への参加の基礎に関すること ・自己の理解と行動の調整に関すること	・感覚や認知の特性についての対応に関すること ・感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること		・言語の受容と表出に関すること ・状況に応じたコミュニケーションに関すること

具体的な指導内容	○様々な場面での、気持ちを切り替える方法や対応の仕方。 ○苦手な場面や刺激に対応する方法。	○自分の特性の理解と受容。 ○自己の理解から行動を調整していく。	○進んで他者とコミュニケーションを取る態度。 ○他者の意見を受け入れ、自分の考えを相手に伝えるための対話の仕方。
----------	--	-------------------------------------	---

4 単元計画と学習評価（全3時間）

時	学習内容	学習評価〈方法〉
1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を理解する。 ・自分について書く。 ・友達によさを見つけ、伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しと自分のめあてをもつことができる。 ①ゴールまでの道筋  ①個別目標 〈ワークシート・発言〉 ・自分の特性や友達によさに気付くことができ、伝えることができる。 〈ワークシート・記入用、発言〉
2 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・より詳しく自分について知る。 ・友達によさを理由をつけて伝える。 ・友達から見た自分のよさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リストの中から自分に当てはまるよさに気付くことができる。 ③アイテム 〈ワークシート・行動観察〉 ・リストの中から友達によさを見つけることができる。 〈ワークシート・行動観察〉 ⑦共有 ・理由をつけて友達によさを伝えることができる。〈発言・行動観察〉 ・自分と友達によさを認めることができる。〈行動観察・発言〉
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特性を知り、近い将来に向けてどんな自分になりたいか、どう成長したいかを考える。 ・自分のよさの生かし方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさをどんな場面で生かし、活躍できるのかを考えることができる。〈ワークシート・発言〉 ②成果の実感  ①ゴール

5 本時でめざす子どもの姿

○自分や友達によさや特性に気付いたり、知ったりすることができ、認め合うことができる。

（2.心理的な安定）（3.人間関係の形成）（6.コミュニケーション）

6 児童の実態

7 仮説との関連

① 一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくったり、見通しをもたせたりするための工夫

（仮説1）

本学級の自立活動では、2年前より継続して全体のみあてと個人のみあてを設定している。各自がめあてを意識して学習や活動に参加し、交流学級では自信がなくてできないことに本学級で挑戦する姿や苦手なことを克服しようとする姿が見られるようになってきている。

本単元では、自分を見つめ直したり友達と互いのよさの交流をしたりすることで、自分の特性を知ることができ、なりたい自分を意識した一歩先の自分のめあてが見つかると思った。

② 「できた！わかった！成長した！」を実感する手立て（仮説2）

日常生活の中で、苦手さや困難さを感じる場面が多い児童たちであるため、不安に感じたり自信がもてなかったりすることがあり、自分を肯定的に捉えられない面が見られる。

本単元では、自分の苦手さ困難さも受け入れるとともに、自分から見た自分のよさと友達から見た自分のよさを合わせて知ること、「よさを生かしたい」、「よさを伸ばしたい」という意欲をもつことができると考えた。また、友達によさにも気づき、認め合うことで肯定的な態度で友達に接する気持ちが育つと考えた。

8 本時の学習展開 (2/3)

	児童の学習活動	評価□ 指導上の配慮事項※
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめのあいさつ ○体と頭をほぐす活動をする ○前時の学習を振り返る。 	<p>※学習について見通しがもてるように前回の学習プリントを視覚的な手がかりとして用意しておく。</p>
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動内容を確認する。 ○今日の活動のめあてを確認する。 <li style="border: 2px solid red; padding: 2px;">⑥自分と友達のよさを知ろう。 ○自分のめあてを決めて発表する。 ○リストの項目から自分に当てはまると思うものに印を付ける。 ○リストの項目から当てはまると思う友達の名前を書く。 ○友達のよさを理由をつけて伝える。 発表例)「○○に当てはまるのは、□さんだと思います。それは△△だからです。」 ○自分の意見と比べたり反応したりしながら発表を聞くことができる。 	<p>※見通しをもって活動できるよう、活動の流れを掲示する。</p> <p>□全体のめあてから、自分の活動のめあてを考えている。〈発表・ワークシート〉</p> <p>※人と比べるのではなく、自分でどう思うかを大事にする。</p> <p>□自分のことを考えることができる。〈ワークシート〉</p> <p>□友達のことを考え、よさを見つけることができる。〈ワークシート〉</p> <p>※困っている児童には個別に支援を行う。</p> <p>□友達のよさを理由をつけてわかりやすく伝えることができる。〈発表・行動観察〉</p> <p>□頷く、「同じです。」などの反応をしながら聞くことができる。〈行動観察〉</p> <p>※話合いの足跡が残るよう工夫する。</p>
終末 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○今日のめあてについて振り返り、シートに記入する。学習のまとめをする。 ○次時の学習内容の確認。 	<p>※自分の活動の振り返りや、友達のよいところを見つけることができたかを確認させる。</p> <p>□本時の学習の振り返りや次時への展望をもち、伝えることができる。〈発言・振り返りシート〉</p>